

「学力向上ポートフォリオ(学校版)」

～ 「真の学力」 育成の継続的な取組を目指して ～

＜本年度の学力向上基本方針＞

ゆめにむかって かしこく やさしく たくましく
～ 可能性を引き出す教育の推進 ～

4月

学力向上目標①

○さいたま市学習状況調査の算数の平均正答率を、令和元年度の値より 2pt 向上させた値にする。

＜目標達成に向けた学力向上策＞

策1

サンサuntime（業前活動）を活用し、学習内容の定着と計算力の向上を図る。複数の教員で指導に当たるとともに、算数の授業の指針を示し、一定の水準を保った授業を全学級で行う。

開始期日

5月中

具体的な手立て

- ・児童の実態や学習内容に応じたワークシートの準備（サンサuntime実施前）
- ・サンサuntime及び算数の授業における教職員の配置計画の作成（4月中）
- ・大久保スタンダード（算数編）の職員への周知と授業の実施（4月、5月中）

本年度の振り返り

- ・学年の実態に応じて、習熟度別の授業を行った。取り組む問題数や難易度を児童の実態に合わせて調整したことにより、知識や技能の定着が見られた。
- ・サンサuntimeでは、児童の実態や進度に合わせて問題演習に取り組んだ。7割程度の児童が正確に速く計算できるようになった。可視化したことで実感を伴って学習することができた。
- ・児童一人ひとりの実態に応じた「学び方」の指導の充実を図った。自校の学校評価アンケートでは約9割の児童が「授業が楽しい」「学力が身に付いている」と回答した。

達成度

2月

3月

次年度の学力向上目標の柱・ポイント

- ・児童の実態や学習内容に応じて、学力向上策を立て、具体的な手立てを講じることで知識や技能の定着が見られたが、一方で定着に個人差も見られた。次年度も人員を効果的に配置するとともにし、個々の実態に応じた学力向上策を立案する必要がある。